

第 1 回

授業づくり講座 教材研究会

香美市立鏡野中学校

模擬授業提案



第 2 学年「二元一次方程式」 小畑 奈美教諭

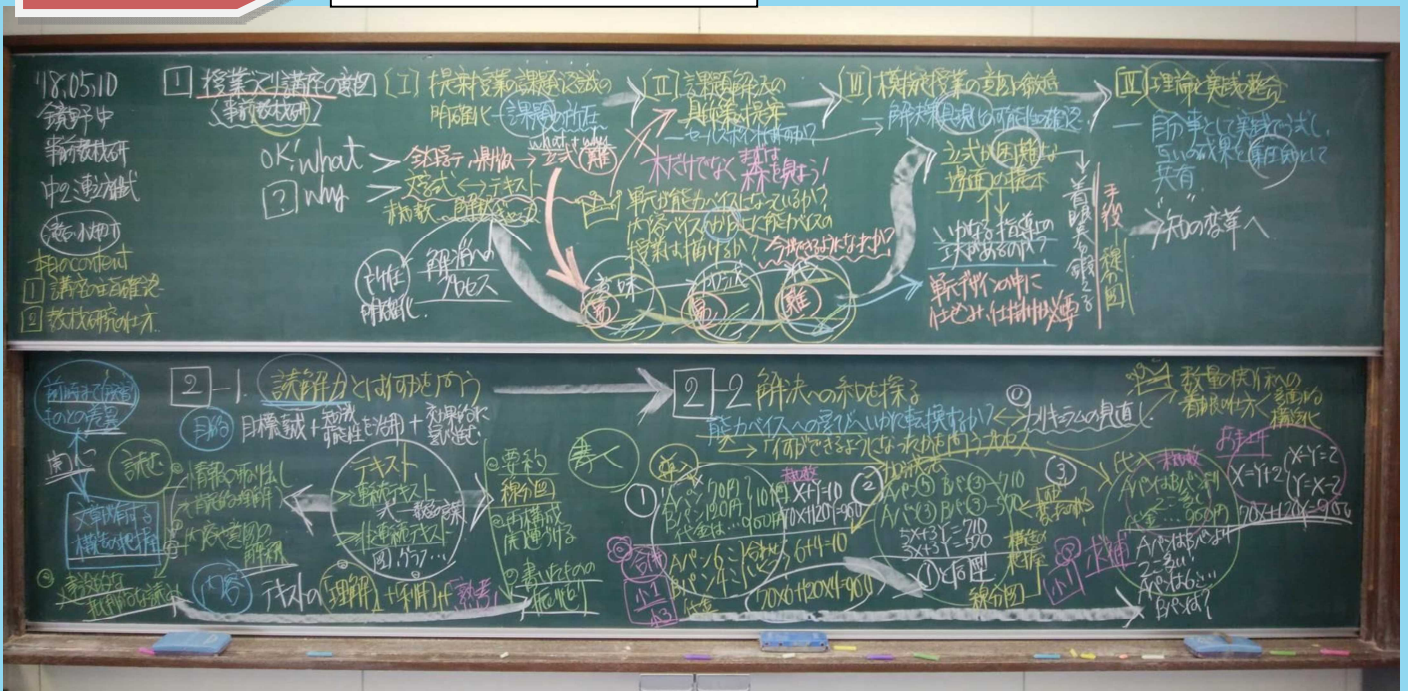
研究主題：自分と集団の考えを発展させる探究的な授業づくり  
～聴く・考える・伝え合う力の育成～

【なぜ、生徒は立式ができないのか？】

学力調査で課題のあった問題から、数学科が付ける読解力について考え、与えられた情報を整理し、関係を把握し、既習の一次方程式の考え方を生かした立式ができる授業を提案しました。

総括専門官板書

数学における読解力とは・・・



読解力とは何かを問う・・・読むことには、①情報の取り出し、②内容や式の意図を解釈することの2点あり、テキストを「理解」+「利用」+「熟考」すること。知識を再構成し、書いた式を振り返り、数学を通して読みを鍛える指導が大切であることを教えていただきました。

数量関係への着眼の仕方を指導すること・・・数量関係を把握することは、小学校1年から学習しています。その見方を丁寧に指導できているか、構造的に表現し、指導する具体を教えてくださいました。文章が有する構造を把握し、前時と既習の差異で単元デザインの中に仕掛けを創る指導が能力ベースの授業を支えていくこととなります。

授業者より

今回の授業づくりにあたり、教科会で課題を共通認識できたことは、大きな収穫であったと感じました。課題の原因を探ること、その改善策を明確にした授業づくりを大切にしたいです。資質・能力ベースの授業づくり、単元カリキュラムの計画の視点がいかに自分になかったかを実感しました。

参観者より

今までと何が違うのかを捉えさせ、授業を通して何ができるようになったかという能力ベースの授業をつくっていかねばならないと感じました。教師が説明して手取り足取り教えてしまいがちだが、新しい場面で自分で解決できるように見方・考え方を鍛え、生徒自身が取り組めるようにしたいと思います。

専門官から文章問題を構造的に把握するポイントを指導していただきました。この教材研究を生かした授業は、**6月5日(火) 13:50~**です！ぜひご参加ください。